

## 神戸女学院大学 第13回 絵本翻訳コンクール 訳文作成用ファイル

ふりがな 参加者氏名	学年
わたなべ ころ	2
渡邊 心	

注1)4人以上のグループでの応募はできません。

<b>学校名</b> <small>(正式名称)</small>	富士見丘高等学校
-------------------------------------	----------

注2)提出できるのは PDF 形式のファイルだけです。PDF に変換する方法が分からない人は、お使いのアプリのヘルプを参照してください。

注3)ファイル名には書式(決まった書き方)があります。提出する前に、書式通りのファイル名をつけてください。

### 【ファイル名の書式】

在籍校の正式名称\_応募者1氏.名\_応募者2氏.名\_応募者3氏.名.pdf

- ・「\_」は下線(半角アンダーバー)です。
- ・氏と名の間に「.(半角ピリオド)を入れてください。

### 【ファイル名の例】

個人の場合 私立 XYZ 高等学校\_岡田山.花子.pdf

グループの場合 私立 XYZ 高等学校\_岡田山.花子\_スミス.ジョン\_Johnson.Jane.pdf

- ・日本名でない場合も氏を先に名を後に書いてください。
- ・アルファベットの場合は、すべて半角文字で頭文字は大文字に、他は小文字にしてください。

題名(タイトル)  
下の青枠内に入力してください。

あさごはんは なににしよう？

本文\*

\*点線より下(欄外)に入力してください。文字・ページ数等の制限はありません。  
課題絵本の本文見開き 1 ページごとに訳文を空白行で区切ってください。

「あさごはんの じかん かな？」 おとうさんの マルコム<sup>まるこむ</sup>は いいました。

「ブーブー！」 あかちゃんは いいました。

「あさごはん たべようね」

「ブーブー ブーブー」

おとうさんは あかい ちいさな くるまを さがして もうふに もぐります。

「おはよう あかちゃん」 おねえちゃんの トービー<sup>とーびー</sup>は いいました。

「あさごはんは なにかしら？」

「ブーブー」

「あれ？ ぱぱ は どこ？」

「じゃじゃーん！ たまごだよー！」 おねえちゃんは いいました。

「たまご みつつぶん ぼくたちに ちょーだい！」 ふたごの ウナとトト<sup>うなととと</sup>が いいました。

「めーぷるしろっぷと いっしょにね！」

「たまごに めーぷるしろっぷは あわないよ」 おとうさんは いいました。

「ぼくたちは とうさんが ぱんけーきを つくると おもったんだ」

「ぱんけーき じゃなくて ぶれっど でもいいかな？」 おとうさんは いいました。

あかちゃんは「ブンブンブン」

おとうさんは はちさんを さがして キョロキョロ<sup>きょろきょろ</sup>

「わたしは どーなつが たべたいわ」 おねえちゃんの アリス<sup>ありす</sup>は いいました。

「あさごはんに あまい たべもの？」 おとうさんが ききました。

「やってみたいわ！」 アリス<sup>ありす</sup>おねえちゃんは いいました。

「きみたち ひょっとして わっふるを つくろうと しているの？」<sup>コンラッド</sup>が となりの  
どあ から きいて きました。

「わっふる？」<sup>うな</sup>のところに あそびに きていた <sup>コンラッド</sup>の いもうとの <sup>ルビー</sup>が  
いいました。

「ワン！」 いぬの <sup>ルビー</sup>が やってきました。

「<sup>ルビー</sup>、しずかにして！」 おとうさんが いいました。

「ただ きいた だけなのに……」 <sup>ルビー</sup>が いいました。

「ああ ごめんね」

「ぼくは いぬの <sup>ルビー</sup>に いったんだ」おとうさんは いいました。

「<sup>ぶーぶー</sup> あかちゃんが やってきました。

「あかちゃん、きみも しずかにしてね」

「だれか あかちゃんの でんしゃを とってきて」

「おはよう」<sup>とと</sup>の <sup>ともだち</sup>の <sup>ジャック</sup>が やってきて いいました。

「でぎーとは なあいい？」

「でぎーと？」 おとうさんは ききました。

「うん！ ちょこれーとと いっしょに たべたいな」

「あさごはんに あまいものは たべないよ」

「たべるよ！」 「<sup>ルーシー</sup>さんは いつも たべてるもん！」 <sup>ジャック</sup>は いいました。

「<sup>ルーシー</sup>さんって だあれ？」

「ぼくの おかあさんの おともだち だよ」

「<sup>ルーシー</sup>さんは いつも けーきか ふるーつくらんぶるを たべているんだ」

「ふつう あさごはんに でぎーとは たべないと おもうよ」

「それなら ぶれっどで だいじょうぶ だよ」

「そうこなくっちゃ」 おとうさんは こたえました。 「じゃむを つけるかい？」

「ぐーすべりーじゃむ？」 <sup>ジャック</sup>が ききました。

「よくわかったね」 おとうさんは いいました。

「<sup>ぶーぶー</sup>！」 あかちゃんが やってきて 「<sup>ぶんぶん</sup>！」

「だれか あかちゃんの でんしゃ みつけた？」 おとうさんは ききました。

「それか あかちゃんが さがしているのは ばす かな……ところで はちさんは どこ  
だ？」

<sup>ぶーぶー</sup> <sup>ぶーぶー</sup> <sup>ぶーぶー</sup>！

「ああ ぶれっど！」<sup>トービー</sup>、<sup>うな</sup>、<sup>とと</sup>、<sup>アリス</sup>、<sup>コンラッド</sup>、<sup>ルビー</sup>、<sup>ジャック</sup>、みんな  
がおおきな こえを だしました。

「それと……」

「ぶんぶんぶーん」 あかちゃんが やってきました。

「はちみつ！」 おとうさんは いいました。

「ぶーぶー ぶんぶん」